株式のご案内

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会	6月開催	
基準日	定時株主総会・期末配当	3月31日
	中間配当	9月30日
上場取引所	株式会社東京証券取引所	株式会社名古屋証券取引所
公告方法	電子公告 但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。	
証券コード番号	7945	
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社	
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社	
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社	
（電話照会先）	0120-782-031 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。	

ホームページのご紹介

当社はホームページにおいて、製品情報、決算情報や各種IR資料を掲載しております。皆様からのアクセスをお待ちしております。

https://www.comany.co.jp/

UD FONT
見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています

VEGETABLE OIL INK

コマニー株式会社
〒923-8502 石川県小松市工業団地一丁目93番地
TEL 0761-21-1144（代）

あ、ココにもコマニー
COMANY

第56期 中間報告書

平成27年4月1日～平成27年9月30日

コマニー株式会社

Index

ご挨拶 …… 01

連結決算報告 …… 03
- ■売上高
- ■営業利益
- ■親会社株式に帰属する四半期純利益
- ■１株当たり四半期純利益
- ■総資産額・純資産額

財務ハイライト …… 05

第５６期 通期
連結業績予想 …… 06

東京証券取引所市場
第二部へ上場 …… 07

キッズデザイン賞を
受賞 …… 08

社会貢献活動 …… 08

人材育成 …… 09

コーポレート・
ガバナンスの充実 …… 09

会社概要・株式情報 …… 10
- ■会社概要
- ■取締役および監査役
- ■株式の状況
- ■大株主／上位 10 名

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに、当社の目指すべき基本方針および第 56 期上半期（平成 27 年４月１日から平成 27 年９月 30 日まで）の事業の概況につきまして、ご報告申し上げます。

当社の経営の基本方針は、当社の経営理念『全従業員の物心両面の幸福を追求すると同時に、人類、社会の進歩発展に貢献する』のもと、全従業員が仕事を通して生きがいや働きがいなど人間としての心の充実と経済的な豊かさを追求するとともに、業界のトップリーダーとして常に技術を磨き、素晴らしい商品を世に送り出すことで、人類、社会の進歩発展に貢献する企業づくりを目指すことであります。

当社の使命は、パーティションのトップメーカーとして「お客様のそばには常に当社の商品があり、誰もが心地よく感じるような空間」を提供することであります。

そのために、本来パーティションが持つべき機能性や利便性だけでなく、人や環境にやさしい商品の特性を活かした事業の取組みや、お客様の付加価値向上を目指した技術の開発などにより、安心と信頼に裏付けされた一流の商品とサービスを提供することで多くのお客様に喜んでいただき、成長し続ける事業活動を展開してまいります。

代表取締役 社長執行役員
塚本 幹雄
Tsukamoto Mikio

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による積極的な経済政策や金融政策などを背景に、企業収益の改善や雇用・所得環境の改善が続くなか、景気は緩やかながら回復基調で推移しました。しかしながら、中国をはじめとした新興国の景気減速などの情勢不安は、少なからず日本経済にも影響を与えはじめ、先行き不透明な状況となっております。

このような情勢のもと、当社はオフィス市場や医療・福祉施設向けの営業活動、新築工事などに対し、当社製品を設計段階で推薦していただく活動（以下「設計織込活動」といいます。）を強化し、お客様のニーズに合った提案やサービスの提供を行うことに重点をおき活動いたしました。

オフィス市場におきましては、特に首都圏のオフィス移転工事などを狙いとしたデザイン提案活動や、新築工事などの設計織込活動を強化した結果、売上高は前年同四半期と比較し 4.4％の伸張となりました。医療･福祉施設向けの活動におきましては、エンドユーザーや設計事務所に対して設計織込活動を積極的に行いましたが、期首受注残が低下したことが影響し、売上高は前年同四半期と比較し 4.0％の減少となりました。その他には、工場用の間仕切り需要が増加し、工場市場の売上高は前年同四半期と比較し 25.8％の伸張となりました。その結果、売上高は 137 億 57 百万円（前年同四半期比 4.1％増）となりました。

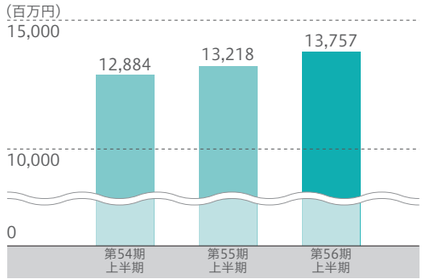
損益面では、販売単価の改善を進めるとともに、製造部門を中心とした収益管理の強化や原価低減活動に全社を挙げて取り組んだ結果、売上総利益率は 41.7％（前年同四半期比 1.8 ポイント改善）となり、営業利益は３億 35 百万円（前年同四半期は営業損失 62 百万円）、経常利益は３億 55 百万円（前年同四半期比 714.3％増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益におきましては、法人税等として 268 百万円計上し、また、過年度法人税等を計上した結果、12 百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失 90 百万円）となりました。

連結決算報告（平成 27 年 4 月 1 日から平成 27 年 9 月 30 日まで）

売　上　高

137 億 57 百万円

前年同四半期比 4.1 % 増



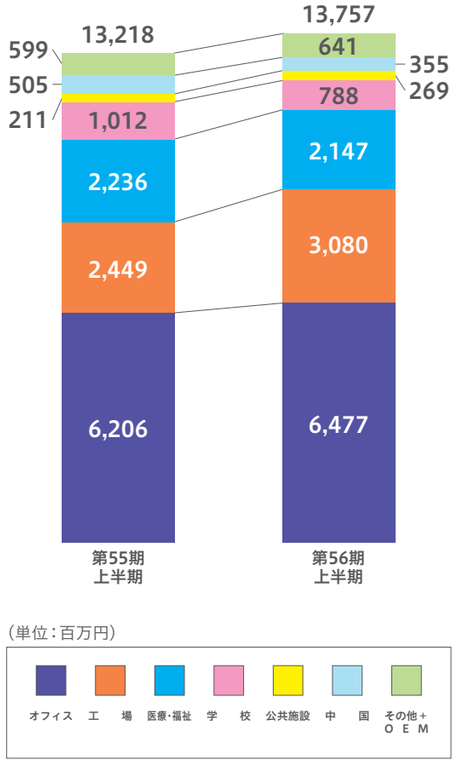
＜売上高ハイライト＞

日本国内におきましては、オフィス市場や医療・福祉市場向けの営業活動、新築工事などの設計繊込活動を強化し、お客様のニーズに合った提案やサービスの提供を行うことに重点をおき活動いたしました。

オフィス市場におきましては、特に首都圏のオフィス移転工事などを狙いとしたデザイン提案活動や、新築工事などの設計繊込活動を強化した結果、売上高は前年同四半期と比較し 4.4％の伸張となりました。医療・福祉施設向けの活動におきましては、エンドユーザーや設計事務所に対して設計繊込活動を積極的に行いましたが、期首受注残が低下したことが影響し、売上高は前年同四半期と比較し 4.0％の減少となりました。その他には、工場用の間仕切り需要が増加し、工場市場の売上高は前年同四半期と比較し 25.8％の伸張となりました。

中国国内におきましては、格満林（南京）実業有限公司の譲渡に伴い、生産や営業などの機能を格満林（南京）新型建材科技有限公司に移管することなどにより、体制を整備して活動してまいりました。新工場稼動の準備を進めながら、以前より活動を続けてきたコンピュータールーム市場と病院市場を中心に活動した結果、中国国内の売上高は前年同四半期と比較し 29.6％の減少となりました。

市 場 別 売 上 高

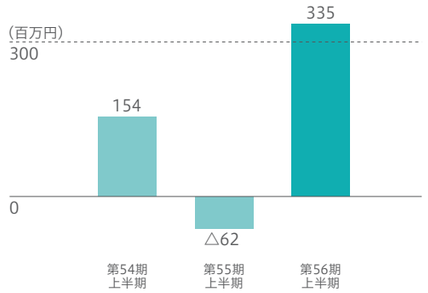


営　業　利　益

3 億 35 百万円

前年同四半期は営業損失

62 百万円



＜営業利益ハイライト＞

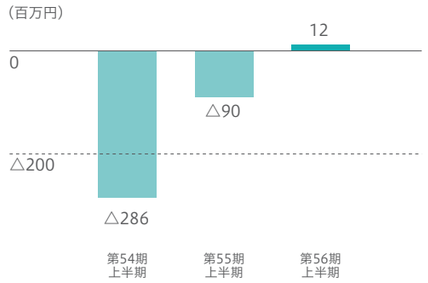
損益面では、販売単価の改善を進めるとともに、製造部門を中心とした収益管理の強化や原価低減活動に全社を挙げて取り組んだ結果、売上総利益率 41.7％と過去最高を更新し、営業利益は 3 億 35 百万円（前年同四半期は営業損失 62 百万円）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益

12 百万円

前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失

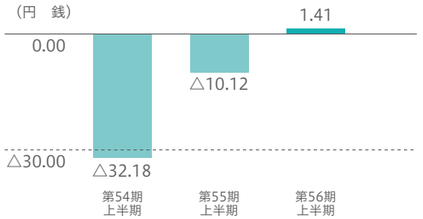
90 百万円



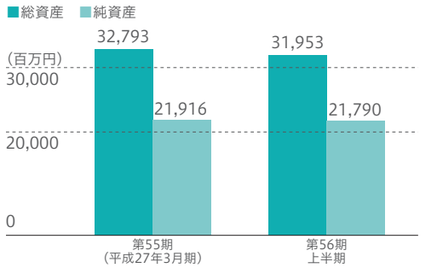
〈親会社株主に帰属する四半期純利益ハイライト〉

親会社株主に帰属する四半期純利益においては、法人税等として 268 百万円計上し、また、過年度法人税等を計上した結果、12 百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失 90 百万円）となりました。

1 株当たり四半期純利益



総 資 産 額・ 純 資 産 額



＜財務ハイライト＞

連結財務状況

（単位：百万円）

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産（単位:円銭）
第５６期上半期	31,953	21,790	68.2%	2,448.69
第５５期	32,793	21,916	66.8%	2,462.77

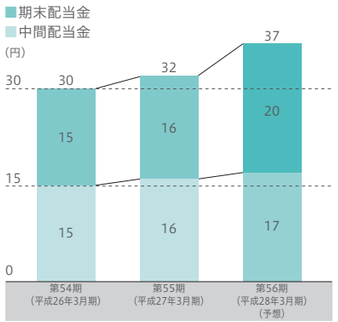
連結キャッシュ・フローの状況

（単位：百万円）

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物四半期末残高
第５６期上半期	1,105	▲1,277	▲203	6,982
第５５期上半期	1,608	▲978	▲485	7,285

配当の状況

１株当たり配当金の推移

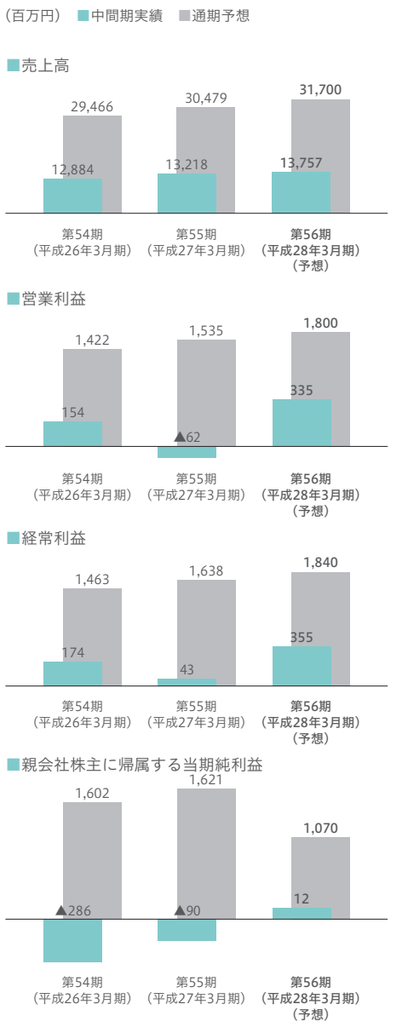


	年間配当金（単位：円銭）					配当金総額（合計）（単位：百万円）	配当性向（連結）	純資産配当率（連結）
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計			
第５４期（平成26年3月期）	―	15.00	―	15.00	30.00	266	16.7%	1.4%
第５５期（平成27年3月期）	―	16.00	―	16.00	32.00	284	17.6%	1.3%
第５６期（平成28年3月期）予想	―	17.00	―	20.00 ※	37.00		30.8%	

※平成 28 年 3 月期期末配当金は、普通配当 17 円 00 銭、記念配当 3 円 00 銭の合計 20 円 00 銭を予定しております。

第５６期 通期　連結業績予想（平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで）

売上高	317億円	（前年同期比4.0%増）
営業利益	18億円	（前年同期比17.2%増）
経常利益	18億40百万円	（前年同期比12.3%増）
親会社株主に帰属する当期純利益	10億70百万円	（前年同期比34.0%減）



＜トピック＞

当社グループ全体の見通しといたしましては、政府による経済政策や金融緩和策、2020 年の東京オリンピック開催など、景気の先行きに明るさが見えつつあります。当業界におきましても、民間非住宅建築着工床面積が 2009 年を底に伸長しており、また、オフィスの空室率も低下していることにより、今後も新しい建物の建設やオフィス移転などのリニューアル工事が活性化すると予測されます。

当社といたしましては、需要が見込める東京を中心とした営業活動の強化を行うと共に、医療・福祉営業を全国展開することにより、売上高の伸張を図ってまいります。

損益面につきましては、受注から納入までの業務の整流化を図ることにより、ロスを徹底的に排除し、利益確保を最重点に活動してまいります。

また、当社は平成 27 年 6 月 16 日に東京証券取引所市場第二部へ上場いたしました。これまでご支援いただきました株主の皆様に感謝の意を表するため、平成 28 年 3 月期の期末配当において、１株当たり３円の記念配当を実施することといたしました。これにより、平成 28 年 3 月期の 1 株当たり期末配当金につきましては 20 円、１株当たり年間配当金につきましては 37 円となる見込みです。

東京証券取引所市場第二部へ上場

当社は、平成 27 年 6 月 16 日、長年の目標でもありました、東京証券取引所への上場を全社員の努力と株主のみなさまのご支援により実現することができました。

当社は四年前に 50 周年を迎え、それを期に社内改革に着手し、東京証券取引所上場会社にふさわしい企業づくりをしてまいりました。

今後も引き続き東京証券取引所上場会社の名に恥じることのないようにさらなる努力を重ねてまいる所存です。

株主のみなさまには今後の当社に期待していただき、これからもご支援とご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

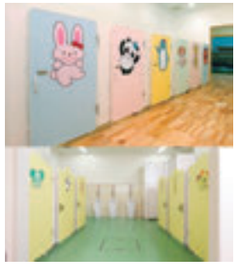
キッズデザイン賞を受賞

NPO キッズデザイン協議会が主催する「第 9 回キッズデザイン賞」の発表が平成 27 年 7 月 3 日に行われ、当社の 3 商品がキッズデザイン賞を受賞いたしました。

キッズデザイン賞とは、「子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン」「子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン」そして「子どもたちを産み育てやすいデザイン」というキッズデザインのミッションを実現し、普及するための顕彰制度です。

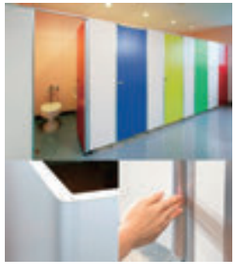
○子ども視点の安心安全デザイン 子ども部門

・園児用トイレブース「エンゼルブース」

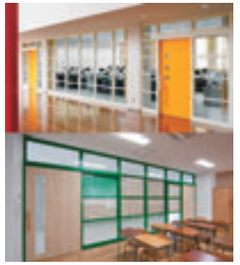


○子ども視点の安心安全デザイン一般部門

・小学校用トイレブース



・学校用間仕切り「SPart」



社会貢献活動

当社は、人類、社会の進歩発展に貢献したいという思いからボランティア活動や清掃活動など、さまざまな活動を実施しております。

チャリティーイベント コマフェス 2015･SUMMER

募金活動、職場見学、模擬店などを通して、楽しみながら地域貢献活動を実施しました。

新入社員 南三陸ボランティア研修

現地での、ボランティア活動を通して被災地へ貢献すると同時に、感謝の気持ちを持つことの大切さを学びました。

全国クリーン作戦

全国の各営業所で普段お世話になっている地域へ一斉に清掃活動を実施しました。

人材育成

当社は、企業倫理を厳守して公正な企業活動を行う精神と、プロとして広く社会に貢献できる人材を育成し、明朗で主体的、積極的な企業風土を醸成することを目指しております。

そのため、日々正しい判断を積み重ねられる人材を育てるよう、全従業員を対象とした理念研修や毎朝の朝礼、勉強会などを実施し、理念の浸透に取組んでおります。また、プロとして多くのお客様に技術でお応えできるよう、技術の体系化とそれを伝承するための教育のしくみ化に取組んでおります。

コーポレート・ガバナンスの充実

当社は、そこに集う全従業員の物と心の両面の幸福を追求し、そして、人間として正しい考え方を貫いた事業の発展によって、社会に貢献することを経営の理念として掲げています。この経営の理念をもとに、企業価値を増大させ、経営の効率を高め、公正で迅速な意思決定の向上に努めることがコーポレート・ガバナンスの基本であると考えております。

さらに、経営の健全性及び透明性を確保するために、経営監督機能及び法令遵守体制の強化がますます重要性を増していると認識し、コーポレート・ガバナンスの充実を図っております。

これまで当社は２名の社外取締役を招聘し、取締役および監査役との意見交換を定期的に行い、外部有識者の意見をさまざまな観点から取り入れております。また、法令遵守体制につきましても、全従業員を対象としたコンプライアンス意識調査や役員を対象とした外部専門家の教育実施など積極的に取組んでおり、今後もさらなる拡充を図ってまいります。

会社概要・株式情報（平成27年9月30日現在）

■会社概要

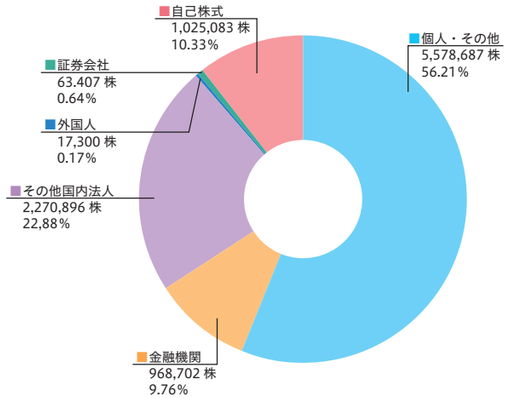
社名	コマニー株式会社 （英訳名　COMANY　INC.）
本店	石川県小松市工業団地一丁目93番地
設立	昭和36年8月18日
主な事業内容	パーティション（間仕切り）の製造および設計、施工、販売ならびにパーティション関連の内装工事、建具工事
資本金	7,121百万円
従業員数	（連結）1,478名　（個別）933名

■取締役および監査役

代表取締役 社長執行役員	塚本　幹雄	社外取締役	武田　忍
代表取締役 副社長執行役員	塚本　清人	社外取締役	中川　俊一
取締役 常務執行役員	澤田　直樹	常勤監査役	川口　幸一
取締役 常務執行役員	堀口　勝弘	常勤監査役	北村　秀晃
取締役 常務執行役員	塚本　健太	社外監査役	木村　禎一
取締役 常務執行役員	元田　雅博	社外監査役	松垣　哲夫

■株式の状況

発行可能株式総数	36,000,000株
発行済株式総数	9,924,075株
単元株式数	100株
株主数	2,861名



■大株主 / 上位10名

株主名	持株数（株）	持株比率（%）
株式会社コマツコーサン	923,300	10.37
コマニー従業員持株会	695,265	7.81
コマニー共栄会	670,864	7.53
株式会社北陸銀行	444,002	4.98
吉田　敏夫	265,500	2.98
株式会社北國銀行	260,000	2.92
木村　直子	223,296	2.50
塚本　幹雄	205,400	2.30
塚本　清人	200,000	2.24
白栄　隆司	179,900	2.02

（注）当社は自己株式1,025,083株を保有しておりますが上記の大株主からは除いております。
また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。